

「白聖研究Ⅰ」（第9回）学習指導案

1 単元名 「ロジックツリーで原因を探る」

2 本時の目標

研究では様々な問題が生じ得る。それらを解決する方法である「ロジックツリー」を活用することで、事象の分析をしっかりとすることができる。（今回は、第一回定期考査で取った順位）

3 本時について

(1) 特徴

目の前の課題がうまく行かないときや問題が生じたときに、その内容分析をする手法に「ロジックツリー」がある。簡単に言えば連想ゲームである。それを図式化することで、分析の幅を広げ、かつ、掘り下げられるようにできると考えられる。

(2) 授業に当たって

「問題解決」と聞くと問題点に対するアプローチをして「なぜ間違っただか」のみを探しがちであるが、成功例に対してもアプローチできる。成功体験があるものには、「なぜ成功したか」を分析することも可能であることを体感させたい。

4 準備・資料

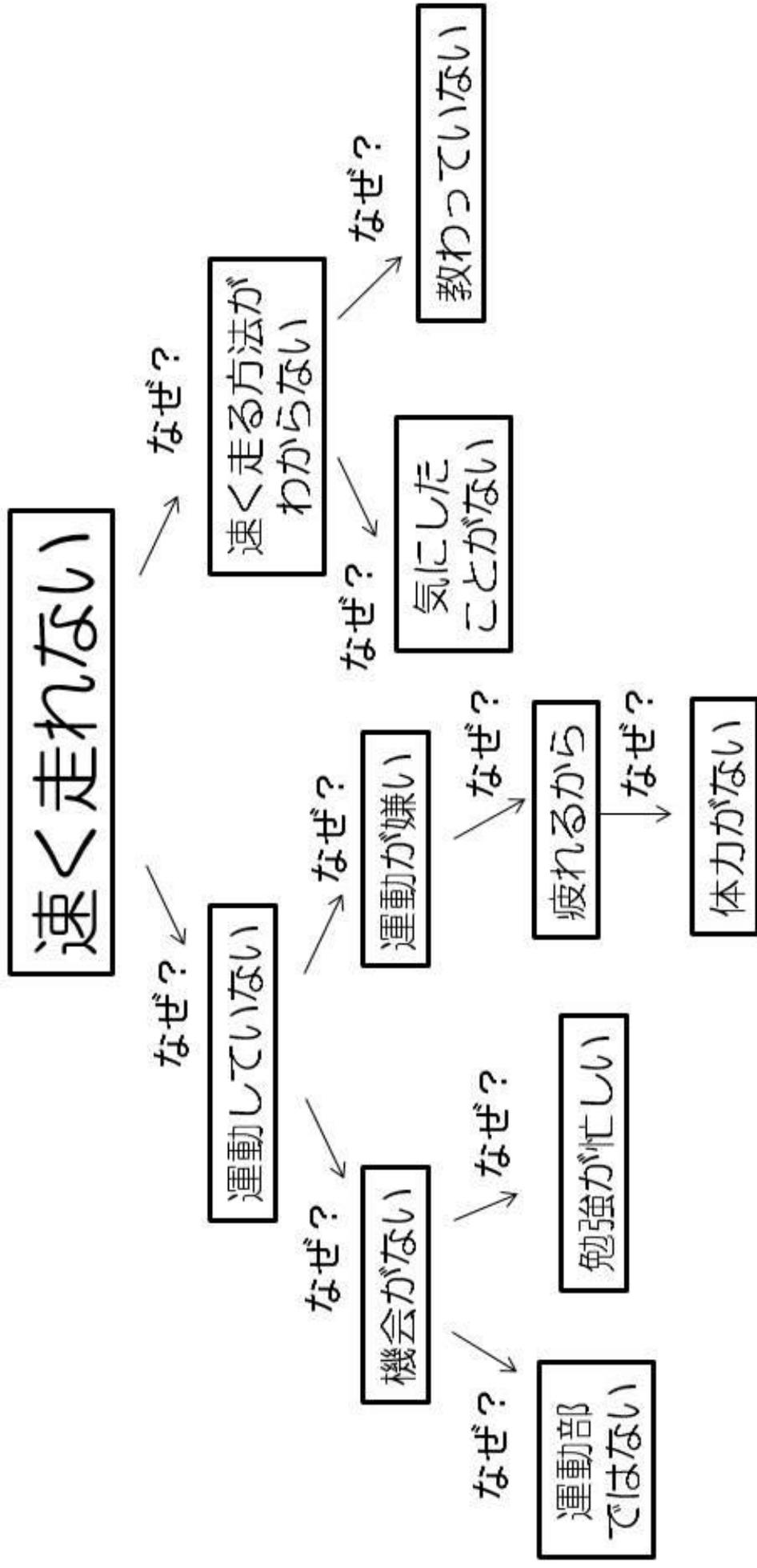
ロジックツリー説明用プリント A4, ロジックツリー用プリント[定期考査](個人用 A3, 一人一枚), 筆記用具(生徒), ロジックツリー用プリント[文化祭](クラス用 A3, クラス一枚),

5 展開

過程	学習活動	指導内容および留意点
導入 2分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動内容を知る。(2分) 	<ul style="list-style-type: none"> 時間前に教室に入り、始業開始のチャイムが鳴り終わったら、号令をかけさせ、開始する。 担当者の紹介。 今日の「白聖研究Ⅰ」の担当の〇〇です。等。 プリント配布 本時の内容説明 「今日は、ロジックツリーという分析手法を用いて、みんなの第一回定期考査の結果を分析してもらいたいと思います。」
展開 作業 18分	<ul style="list-style-type: none"> ロジックツリーの説明(3分) 分析対象の説明(2分) 	<ul style="list-style-type: none"> 説明① 「プリントを見てください。ロジックツリーとは、プリントの図のように、ある事柄の原因を細分化していき、その原因・理由を見つける方法です。 この例では、「速く走れない」という現象を分析したものです。初めに、足が遅いのはなぜかを考え、その理由を上げます。この例では、その理由として、運動していない、速く走る方法がわからない、を挙げています。つぎに、いま挙げた理由の理由をさらに考えます。ここでは、運動していない理由は、機会がない、運動が嫌いであるとなっています。さらにいま挙げた理由の理由を考えます。運動が嫌いなのは疲れるから。疲れるのは体力がないから。となっていくます。 このようにある事柄の原因や理由をひたすら突き詰めていって、図にしたものをロジックツリーといいます。」 説明② 「今回は、第一回定期考査の成績について分析してみましょう。できたと思った人は、「いい成績が取れた」から、できなかったと思う人は「いい成績が取れなかった」から始めてください。時間は10分間です。プリントは授業終了後に回収します。コツはひとつです。「正解不正解はないので、思ったことはどんどん書いていく」だけです。

	<ul style="list-style-type: none"> 個人作業（10分） 解説を聞く（3分） 	<ul style="list-style-type: none"> 「では、始めてください。」 「終了です。」 説明② 「どうでしたか。原因は見つかりましたか。この方法の優れている点は、細かく原因を知ることができるのは勿論ですが、分析した後に対処法を考えることができる点にあります。 たとえばプリントの例では、最後の原因が、運動部ではない、勉強が忙しい、体力がない、気にしたことがない、教わっていない、となっていますね。 この最後に出た理由を解決すればツリーの頂上を解決できることとなります。この例では、運動部ではない、など不可能なこともあります。解決するためにできること、できないことがはっきりしていますね。この人は、とりあえず、走り方を教わって、体力をつければ少し解決に進むことが分かります。」
展開 発表 25分	<ul style="list-style-type: none"> 全体討論の説明（5分） 全体討論（20分） 	<ul style="list-style-type: none"> 説明③ 「それでは、この方法を使って、最後に文化祭でクラス企画がうまくいった理由を考えていきましょう。」 「では、ここからはHR代表とHR副会長に司会，HR書記に板書，HR会計はプリントに記入を行っていただきます。」 ※HR代表とHR副会長に司会，HR書記に板書，HR会計にはプリントを渡して記入させる。 HR代表に、クラス全員が協議に参加できるように司会進行を工夫する旨を伝える。
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> 全体の結果をまとめる。（5分） ふりかえりシート記入（3分） プリントを回収（2分） 挨拶する。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明④ 「どうでしたか。上手に分析できましたか。黒板に書いてある一番端に書いてあるロジックが、君たちが文化祭で成功した理由になります。（アドリブで講評入れる） 今後も、まだクラスのイベントがあると思います。是非これらを役立ててください。この方法は、上手くいかなかったことを分析し、解決していくのはもちろん、上手くいった過去の事例を分析して、成功する条件を見つけるときにもこの方法は非常に有用です。研究のみならず、日常生活でも、是非活用してみてください。」 「では、ふりかえりシートを記入してください。」 プリントを回収 (個人のロジックツリー，クラスのロジックツリー) 「以上で、授業を終わりにします」(号令)

ロジックツリーの例



ロジックツリー（個人用A3）
第一回定期考査の反省

1年 組 番 氏名

ロジックツリー (クラス用A3)

記入者 1年 組 番 氏名

文化祭の反省

「白堊研究Ⅰ」【Check-List】<教員用>

⑨ロジックツリーで原因を探る

1年()組

○を記入し、「要因」を記載する。↓

・時間通りできなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・指示がうまくいかなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・生徒が積極的に動かなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・その他の問題点		